

令和8年度 芸術科

教科	芸術	科目	生活美術	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

1. 基礎的な美術を学ぶ上で大切な、色彩感覚、イメージの展開力を身につける。
 2. 絵画や作品を制作するにあたって。素材を活かし、作品作りの楽しさを学ぶ。
 3. 美術史の流れで作品を鑑賞し、現代の私たちとの関係を探る。
 写實的に表現できずに、苦手意識をもつ生徒が多い。技術のみに偏らない幅広い美術の知識・感性を磨くことで、自由な発想をもって制作させる必要がある。

2 学習の到達目標

【知識及び技能】
 美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、美的体験を通して感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばすとともに色彩や素描などの基礎的技術について学ぶ。
【思考力、判断力、表現力等】
 基礎的な素材・知識を活用し、既製品にはない独創性ある作品作りを目指す。
【学びに向かう力、人間性等】
 日常生活のなかにある美術・アートを鑑賞・制作・活用することの楽しさや喜びを感じ、日々の生活に彩りを与える方法としての芸術に積極的に関わる姿勢を育む。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1 学期	色彩の基礎	<p>【デザイン】</p> <p>《オリエンテーション》</p> <p>美術、デザインの分野の理解。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「美術」の授業の説明 デザインセットの道具の使用方法の説明をする。 ・無彩色、有彩色、色の三要素などを理解する。 ・混合、対比、補色など色同士の関係を知る。 ・12色相環をスケッチに描く。 	<p>a: 色を美しく丁寧に塗る事ができる。色彩の工夫がある。</p> <p>b: 課題内容を把握し、作品をより良くする為の工夫をしている。</p> <p>c: 美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。</p>	<p>スケッチブック</p> <p>作品</p> <p>ワークシート</p> <p>制作の様子</p>	<p>ツチブック</p> <p>作品</p> <p>ワークシート</p> <p>制作の様子</p>	<p>学習活動の様子</p> <p>制作の様子</p>
	四季のイメージ	<p>【デザイン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色彩基礎 ・色彩構成 <p>四季それぞれのイメージに合うように明度・彩度・配色・構成等を工夫し表現する</p>	<p>a: アクリル絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。</p> <p>b: 条件や美しさなどから、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。</p> <p>c: 四季のイメージを表現することに関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら構想を練ったり、表現したりしようとしている。</p>	<p>制作途中の作品</p> <p>制作の様子</p> <p>完成作品</p>	<p>ワークシート</p> <p>制作の様子</p> <p>完成作品</p>	<p>制作途中の作品</p> <p>制作の様子</p>
2 学期	パッケージデザイン	<p>【デザイン】【鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙袋の鑑賞 ・パネルの水張り ・ポスターゼーション <p>色と形で自分の好きなこと、ものをデザインする。下書きをする(直線や図形による画面分割)色見本カードでイメージにあう色を選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイディアスケッチ <p>スケッチブックにアイディア</p>	<p>a: 木材、色画用紙の特性を活かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。</p> <p>b: 条件や美しさなどから、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。計画を立てて文章表現ができています。自分の意見を伝えられる。</p> <p>c: 色彩のイメージを表現することに関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら構想を練った</p>	<p>アイディアスケッチ</p> <p>制作途中の作品</p>	<p>アイディアスケッチ</p> <p>制作途中の作品</p>	<p>制作の様子</p> <p>制作途中の作品</p> <p>鑑賞ワークシート</p>

			り、表現したりしようとしている。想像力を働かせて、作品をより良く見せる為の工夫をしている。技法、素材の特性を理解し、自分の考えをまとめている。	完成作品	完成作品	
	木工用品をつくらう	<p>【塑像・彫刻】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デッサン アイデアをデザインに取り入れ工夫する。形の他にも動きや、機能性がきちんと考えられている。 ・制作 型紙を作り木材を裁断する。形の他にも動きや、機能性がきちんと考えられている。面取り、ヤスリがけでなめらかにする。蜜蝋ワックスでつやを出す。お互いの作品の鑑賞をする。 	<p>a: 木材の特性を生かし、表現方法を工夫して表現している。</p> <p>b: 形態など活かし表現方法を工夫して表現の構想を練っている。</p> <p>c: モチーフの特徴を表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>デッサン</p> <p>制作途中の作品</p> <p>完成作品</p>	<p>デッサン</p> <p>制作の様子</p> <p>制作途中の作品</p> <p>完成作品</p> <p>鑑賞ワークシート</p>	<p>制作の様子</p> <p>制作途中の作品</p> <p>鑑賞ワークシート</p>
3学期	美術鑑賞(日本美術)	<p>【鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財鑑賞。狩野永徳・長谷川等伯(安土・桃山時代に活躍した作家を中心に) ・参考作品の模写を制作する。 	<p>a: 作品の模写を通して作者が用いた技法について学ぶ。</p> <p>b: 作品の観察から得た作者の技術を如何にして再現するかを考えながら模写をする。</p> <p>c: 美術作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などに関心を持ち、作品について理解しようとしている。</p>	<p>ワークシート</p> <p>制作の様子</p> <p>完成作品</p>	<p>ワークシート</p> <p>レポート</p> <p>制作の様子</p> <p>完成作品</p>	<p>ワークシート</p> <p>レポート</p> <p>制作の様子</p>

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度